

**令和3年度 全国高等学校総合体育大会**  
**第89回 日本高等学校選手権水泳競技大会**  
**競泳競技 監督者会議資料**

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。平熱を超える発熱
  - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
  - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
  - ・嗅覚や味覚の異常
  - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
  - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。  
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (5) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (6) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (7) レース終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用してから移動すること。
- (8) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (9) 食事は、体育館内の指定した食事会場で取ること。食事の際は手指消毒を必ず行い、人との距離を保ち単独で取ること。
- (10) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (11) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
  - ・チーム共有のドリンクサーバー
  - ・アイシングバス、トレーニングバイク等
  - ・メガホン、横断幕、のぼり、部旗
  - ・ガウン、タオル等直接肌に触れるもの（個人専用は持ち込み可）
  - ・共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
  - ・チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2021年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 200mまでの種目は予選とB決勝・決勝を行う。それ以外の種目は、予選と決勝を行う。
- (3) 競技は、予選10レーン、B決勝・決勝8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。  
バックストロークレッジの使用に際して、レッジの高さの調節は各選手が行う。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。
- (4) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は、予選申込者25名以上の種目に限って行う。
- (6) B決勝は、予選の結果、決勝進出者8名を除き上位8名が出場できる。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (7) 決勝進出は同記録で予定人員を超えた場合、スイムオフを行う。女子800m自由形・男子1500m自由形、およびB決勝進出については、抽選で優先順位を決定する。
- (8) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。決勝種目は2名、B決勝種目は3名とする。
- (9) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集所で水着の確認を行う。
- (10) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日予選競技開始20分前までにリゾリレーションデスクに届け出ること(1日目は9:30、2日目~4日目は9:10)。B決勝・決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内にリゾリレーションデスクに届け出ること(原則として該当都道府県の委員長が付き添うこと)。
- (11) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (12) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (13) 競技成立後、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。決勝の優勝者は自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (14) 選手紹介は、予選・B決勝は各レーンで紹介。決勝は入場ゲートで紹介する。
- (15) 本大会は、上訴審判団を設置する。

## 2 全体スケジュール

開会式 8月17日(火) 9:30~ 閉会式 8月20日(金) 15:15~(予定)

期 日	事 項	開門時間	予選競技	予選競技	決勝競技	決勝競技	閉門時間 (予定)
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
8月16日(金)	公式練習	10:00	公式練習日(10:00~16:40)				17:00
8月17日(土)	1日目	7:30	9:50	12:10	14:50	16:45	18:30
8月18日(日)	2日目	7:30	9:30	11:30	15:10	16:45	18:30
8月19日(月)	3日目	7:30	9:30	12:00	15:00	16:45	18:30
8月20日(火)	4日目	7:30	9:30	10:45	13:30	14:50	17:00

## 3 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示は控えること。メインプール、サブプールとも練習中は電子ホイッスルのみ使用可とする。

- (1) メインプール
  - ① 水深は2m、水温は27.5℃に設定する。
  - ② 予選競技前の練習は当日の出場者のみとする。練習は競技開始15分前までとするが、大会1日目は開会式の準備のため9:10までとする。
  - ③ 昼休みの練習は当日のB決勝・決勝の出場者、ならびに翌日の競技出場者のみとする。
  - ④ 0・9レーンはダッシュレーン、1レーンはペースレーンとする(クロールスイムでのみ使用可)とする。
  - ⑤ 0レーンのスタートは、折り返し側から、9レーンはスタート側からの一方通行とする。
  - ⑥ 男女別のレーン分けをする。但し、ダッシュレーン、ペースレーンは男女別としない。
  - ⑦ メインプールへのパドル・コード類の持ち込みは禁止する。
  - ⑧ 公式スタート練習は公式練習・大会当日とも行わない。

## (2) サブプール1 (25m×6レーン)

- ① 水深は1.2m~1.4m、水温は27.5度に設定する。
- ② ダッシュレーン、ペースレーンは設けない。
- ③ 飛び込みは禁止する。
- ④ コード類の使用を禁止とする。パドルの使用については、時間を制限する。

## (3) サブプール2 (ダイビングプール 25m×8レーン)

- ① 水深5.0m、水温27.5度に設定とする。
- ② ダッシュレーン・ペースレーンは設けない。
- ③ 飛び込みは禁止する。
- ④ コード類の使用を禁止とする。パドルの使用については、時間を制限する。

※サブプール1・2とも、予選開始前、昼休みの練習時間帯はパドルの使用を禁止する。(16日は使用可)

予選開始後~予選競技終了後、決勝競技終了後のパドルの使用を認めるが、安全面に十分留意すること。

## (4) 練習会場 (長野日本大学高等学校 25m×7レーン)

- ① 水深は1.1m~1.3mに設定する。
- ② ダッシュレーン、ペースレーンは設けない。
- ③ 飛び込みは禁止する。
- ④ コード類の使用を禁止する。パドルの使用を認めるが、安全面に十分留意すること。
- ⑤ 8/17(火)~8/19(木)の決勝終了後、ならびに8/20(金)は終日使用できない。

## 4 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。但し、上位3名については、優勝者のフラッシュインタビュー後に、撮影場所にて写真撮影を行う。
- (2) 1位から3位にメダルならびに賞状を、4位から8位に賞状を授与する。
- (3) 選手は、着衣後に手指消毒を行い、自分でメダルを首にかける。撮影時は、会話・握手は控えること。
- (4) 賞状の贈呈は、インフォメーションデスクで行う。

## 5 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・関係者以外は入館できない。
- (2) 前日練習日を除き大会期間中7:30の入場は、大会当日に出場する選手のみとし、その他の選手は、昼休み以降の入場とする。この入場制限については、入口でAD確認を行う。感染予防のため、昼休み以降に入場した選手の食事は、体育館選手控え室で単独で取ること。
- (3) サブプールは、水泳練習と荷物置き場の使用のみとし、待機および食事場所とすることはできない。
- (4) 選手団席は、全団体ともエリアを設定する。動線を守ること。
- (5) メインプールを使用した際は、更衣室で水気を拭き取り、マスクを着用して、通路に出ること。
- (6) 入館前に手指の消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で37.5以上あった場合は、別の場所で再度検温する。その結果、37.5度以上あった場合は入館できない。  
入館後の退館は認めるが、その後、再入館する際も、手指の消毒、サーモグラフィーでの検温を受けること。
- (7) 「健康チェック表」の提出について
  - ① 「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入館時に提出すること。
  - ② 公式練習日、大会期間中とも、外出後および決勝競技時の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。
  - ③ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- (8) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。なお、不足、紛失の際は、引率責任者・監督が都道府県の委員長に相談すること。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離(できるだけ2m以上)をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。青のテープのある着席禁止場所には座らないこと。
- (11) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。

- (12) 泳ぐとき以外は原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かないこと）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。
- (13) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (14) 更衣は、指定された更衣室を使用すること。但し、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食更をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (15) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (16) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認める。
- (17) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事での会話は控えること。ドリンクの回し飲みはせず、飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (18) 選手は、自分の競技終了後、速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

## 6 注意事項

- (1) 全ての競技者は競技終了後、予選・B決勝・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) サブプールと体育館選手控え場所にモニターを設置する。
- (3) 持ち物、貴重品については各選手、各学校の責任において管理すること。
- (4) 記録証については、会場では発行しない。記録証の印字については、日本水泳連盟ホームページ内の日本高等学校選手権水泳競技大会のページおよび、令和3年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会公式ホームページにテンプレートを掲載する。
- (5) NHK、Eテレのテレビ放映期日

8月17日(火)	15:15~16:55
8月18日(水)	15:40~16:55
8月19日(木)	15:25~16:55
8月20日(金)	13:40~14:55

- (6) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。  
 SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)  
 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)